記者発表資料

平成２６年　４月　２４日
鳴子ダム水源地域活性化協議会

鳴子ダムで「すだれ放流」と「鯉の滝のぼり」

すだれ放流は昭和３３年ダム完成当初より、５月の大型連休に実施しています。
ダム前面には５０本の鯉のぼりを設置し、すだれによってできた滝をのぼっているように見えることから、「鯉の滝のぼり」として地域の方や観光客に親しまれています。
本行事はＨ２６年で４７回目となり、毎年、数千人の観覧者がいます。

「**すだれ放流**」は、ほぼ毎年行われており、ダム上部（堤頂越流部）から水を流し、**幅９５ｍ、高さ約８０ｍの巨大な滝**が出現、流れ落ちる様子は、非常に迫力があります。
すだれ放流は5月2日から5月6日まで実施します。

ダム下流に設置される「**鯉のぼり**」は、これまで、数十本の鯉のぼりを設置していましたが、今年は、鳴子ダム水源地域活性化協議会が中心となって作製した「**手作り鯉のぼり**」を５０本設置します。（別紙参照。例年の鯉のぼりの掲揚状況。）
手作り鯉のぼりは4月28日から5月6日まで設置しています。
（※設置作業について、雨天順延になります。）

また5月2日には、**オープニングセレモニー**を開催します。
オープニングセレモニーでは鬼首小学校の生徒による合唱や、鬼ノ国心鼓会による太鼓演奏なども企画しております。

○すだれ放流オープニングセレモニー
開催日：５月２日（金）１０：００～
場　所：鳴子ダム堤体左岸
実施内容：・開会宣言（鳴子ダム管理所長）
・来賓祝辞（大崎市長）・鯉のぼり披露
・合唱（大崎市立鬼首小学校）
・太鼓演奏（鬼ノ国心鼓会）　以上。

※ダム上流の江合川の水が少なく貯水池が満杯にならない場合やすだれ放流を継続できる流入量がない場合、及び、洪水が予想される場合等は、「すだれ放流」を中止する場合があります。

《 鳴子ダムホームページhttp://www.thr.mlit.go.jp/naruko/ 》

【発表記者会】古川記者クラブ

主催：鳴子ダム水源地域活性化協議会
（※メンバーは別紙参照）

問い合わせ先
（すだれ放流）　国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
所長　齋藤 信哉　　専門職　工藤 一志
〒989-6806　宮城県大崎市鳴子温泉字岩渕２－８
TEL 0229-82-2341　FAX 0229-83-3855

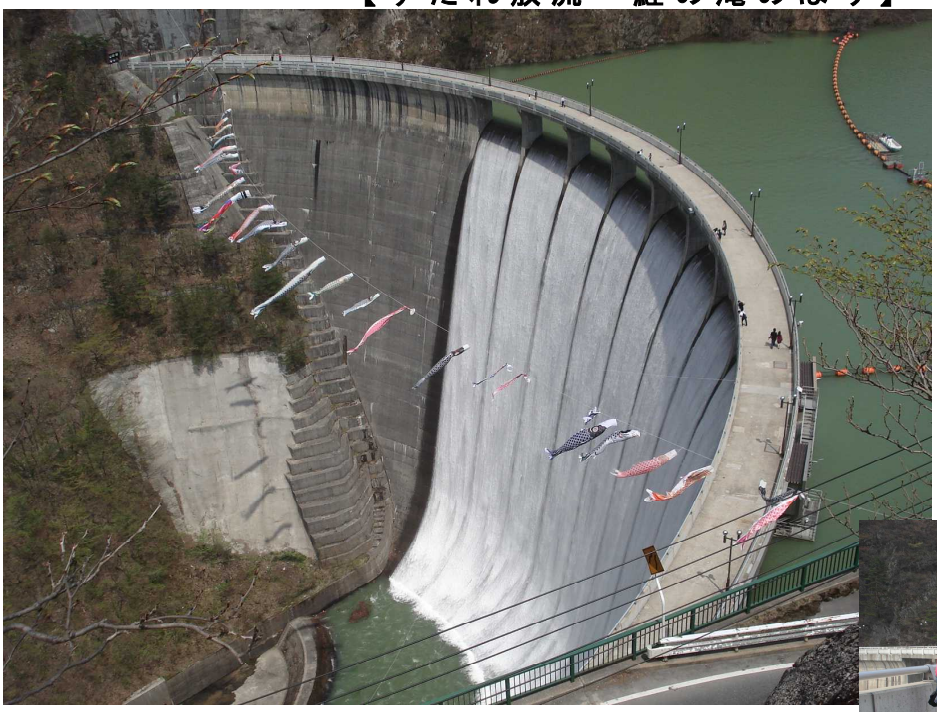
（鯉の滝のぼり）大崎市 鳴子総合支所 地域振興課
主査　佐藤 孝　　主査　千葉 友和
〒989-6892　宮城県大崎市鳴子温泉字新屋敷６５
TEL 0229-82-2026　FAX 0229-82-2533

【別紙】

《鳴子ダム水源地域活性化協議会メンバー》

大崎市、(一社)みやぎ大崎観光公社、宮城県北部土木事務所、
㈱東北地域環境研究室、NPO法人鬼首山学校協議会、鬼首小学校、
鬼首地域づくり委員会、鳴子温泉郷観光協会、㈱オニコウベ、
大崎土地改良区、大崎地域水管理協議会、東北電力㈱古川営業所、
鳴子ダム管理所

【すだれ放流・鯉の滝のぼり】





※この様子は「ダムカード」にもなっております。
　ダムカードはダムの見学者を対象に、ご希望の方にお渡ししております。

【会場案内】

